

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山田小学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 自ら学習を進めていく力の育成

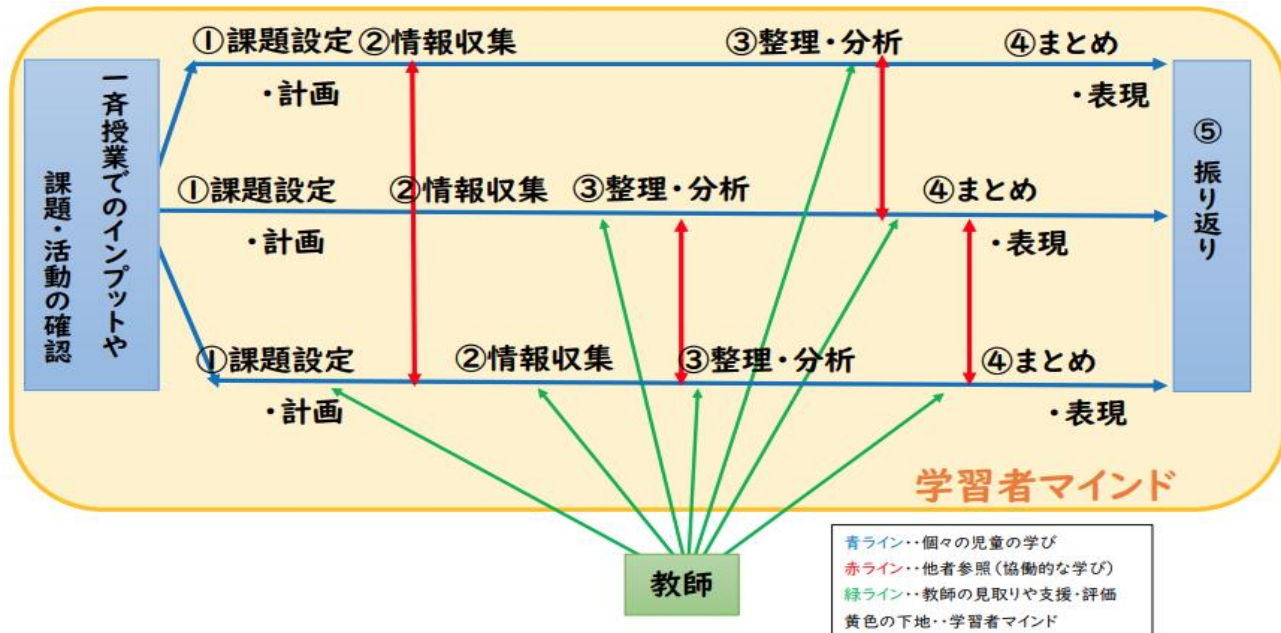
① 本校が考える複線型授業

・一連の流れは、単元全体で見ることもあるし、単元内の数時間で見ることもできる。

・図中の青ラインは複線型授業での個々の児童の学びを表す。教師は児童の発達段階に応じて、児童が自分の力で①～⑤の学習サイクルを進めていける力を育成する。

・複線型授業の中では、児童が必要に応じて他者参照（図中の赤ライン）したり、教師の支援（図中の緑ライン）を受けたりしながら学習を進める。

・教科や単元に応じて、学習サイクルの一部を繰り返したり、一斉授業、複線型授業を組み合わせたりしていく。



[illegible]